

続・学びの実感

分けた大きさの表し方を考えよう

◇大泉学級を借りて事前授業に取り組み、板書計画やワークシートの形、掲示物の色や形など試行錯誤を重ね、今回の授業に取り組んだ秋田先生でした。秋田先生の「1年間指導していただいている鈴木先生にも見てほしい」という強い希望で、鈴木先生が来校する金曜日の授業となりました。



◆事前検討会から…

1回目

- ◇秋田先生…今回の授業では、分数の計算の仕方をきちんと理解させたいです。学級の実態を考えると、実際のもの(具体物)を提示したいと思います。また、小数の計算の仕方から分数の計算の仕方へつなげていきたいと思います。全体で考えを交流するときには、実物投影機を使用したいと思います。ワークシートについては悩んでいて、空欄にするかマス目を入れるか…。
- ◇学年部…単元を通して、大切にしたい言葉(ポイント)を意識して進めていくと良いですね。「もとにする」という言葉は、これからも出てくる言葉なので、大切に何度も何度も使って意識させていってもいいのでは？

2回目(大泉学級を借りて授業後の話し合い)



- ◇秋田先生…フワフワした気分が終わってしまったので…。時間配分をしっかりと出来なかったのが、最後の練習問題までいけなかった。実物投影機の使い方が慣れていなかったです。子供の考えを黒板に反映できなかつた。机間巡視時のアナウンスが難しいです。
- ◇学年部…課題をつかむために何度も音読させたらどうでしょう。これから何をするのか指示「書く」「読む」「聞く」等をしっかりとしましょう。4つの考え方の確認が良かった。板書はなるべく短時間で、発表者に寄り添いましょう。様子を見ていると、自力解決とペア学習の時間はもっと短くても良かったかも。

◆事後検討会から…

《自評》

◎秋田先生…

- ・ヒントカードが子供たちの思考の手助けになっていたのが良かった。
- ・前時まで何度も繰り返し唱えてきた、大切なワードである「もとになる数」が定着していなかったのが残念だった。

- 4つの視点で発表させたかったが、図がいまいちだったことに後から気が付いて焦りました。
- 机間巡視をきちんとやり、子供たちの考えをもっと取り上げたかったです。
- 認め合いの場面では、友だちに優しく「違うよ」と言っている児童もいて学び合いにもつながっていたと思う。
- 単元全体の流れを意識して授業を進める大切さを再確認できました。これからも頑張りたいと思います。



《参観者から》

- 課題の口の中に子供と一緒に確認しながら入れていたのが丁寧で良かった。
- 本時の目標が分かりづらかった。
- 「もとにする数」の1/10の確認が前回より少なかったように感じます。そのことが、子供のワークシートの中にあまり使われなかった理由かもしれませんね。
- 「あれだけ書けるのだから、教師の説明が丁寧すぎたのでは？」という意見がありました。しかし、丁寧だったからあれだけ書けたのではないのでしょうか？
- アナウンスがたくさん出来ていました。
- 自力解決やペア学習の時間の設定がとても良かった。



- ペア学習の仕方（話し方、聞き方）がとても立派だった。
- 今日のテーマの「もとにする数」をしっかりと押さえてまとめることが出来ていました。
- 全体発表の前に、式と答えの確認をすべきだったかも…。5/20と書いた子の修正にもなったかもしれません。
- 適応問題で担任の読み上げを聞いてきちんと式を書き写し、計算できていたのがすごかった。

《鈴木先生から》

- 児童の説明の仕方の練習（積み上げ）が大切になってくると思います。
- 必要なこと、大切なことは図で表現し、言葉は最小限にとどめ、発表の時に丁寧に話させることも大切だと思います。
- 児童の説明の仕方について、上手な子供たち紹介したり、説明の方法を教師がランキング教えたりしながら、全体で確認し、みんなのものに出来ると良いですね。

◆課題のリレー

（有効…○ 課題…●）

○児童の思考の助けになる丁寧な説明の仕方

●授業の核となる言葉や考え方などは忘れずに触れるなり…繰り返すなり…。

次回の研究授業は…

2月6日（金）2校時 「ウェルカムなかよし2組」

なかよし2組 葛西学級

※先生方に対して「ウェルカム」だそうです。

出来るだけ話し合いや授業を参観しましょう。

乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(._.)m